

日本国際保健医療学会第44回西日本地方会 公開シンポジウム

在留外国人の母と子に寄り添う ～妊娠から子育てまでの仕組みづくり～

日本国際保健医療学会・「移民の健康」委員会共催企画

2026年3月21日（土） 13：00～14：30

会場

名古屋大学 大幸キャンパス（名古屋市東区大幸南1-1-20）

*アクセスは[大会ウェブサイト](#)（下記）をご覧ください

方法

対面ならびにオンライン（Zoom）

参加費

公開シンポジウムのみの場合は無料

（日本国際保健医療学会第44回西日本地方会への参加を歓迎します！）

申込み

こちらからお願いします⇒
（地方会参加者は申込み不要）



<https://questant.jp/q/8SXVECBN>

海外ルーツの母と子に寄り添うには、チームでの取り組み、地域とのつながり、そして制度への理解が重要です。このシンポジウムでは、妊娠から子育てまでを支える仕組みづくりについて、シンポジストがそれぞれの視点から知見を共有します。

<シンポジスト>

吉田春美氏：名古屋大学医学部附属病院 産科病棟

藤原啓子氏：名古屋市中区保健福祉センター 保健予防課

後藤美樹氏：NPO法人 外国人ヘルプライン東海

岩本あづさ氏：国立健康危機管理研究機構 国際医療協力局

<座長>

坂本真理子：愛知医科大学 中村安秀：公益社団法人 日本WHO協会

公開シンポジウム事務局：一般社団法人 Bridges in Public Health（BiPH）
adm.office14@biph.jp

日本国際保健医療学会第44回西日本地方会

「在留外国人の母子保健

—誰もが安心して妊娠・出産・子育てができる社会を目指して—

大会長：入山茂美（名古屋大学大学院医学系研究科 総合保健学専攻看護科学）

